

⑦ ワクチン開発・製造産業の育成・振興 (案)

令和3年5月25日

厚生労働省、外務省

ワクチン開発・製造産業の育成・振興

- ワクチンの出口戦略の検討
- ワクチン等の企業開発支援を行う体制の構築
- パンデミック時に国産原材料・資材を確実に確保するための基準策定

①ワクチンの出口戦略の検討

- 企業の予見性を高めるため、海外市場の開拓やWHOの事前認証取得の後押しなど、出口戦略を検討
- Gaviなどの国際的な枠組を通じて世界的にワクチンを供給することや途上国の支援ニーズ等に応じたODAの活用等の検討

②重点感染症の指定・ワクチン等の企業開発支援を行う体制の構築

【政策】

- 感染症発生状況のモニタリングを実施
 - 国内外の感染症発生状況のモニタリングを実施する方策の検討(例:厚労科研費による感染研での実施)
- 専門家による議論を経て、重点感染症を指定
 - 重点感染症(※)の指定の際には、海外のみで流行している感染症もフォーカスに入れることも検討
 - ※国内又は海外で公衆衛生上の危機となり得る感染症であり、これまでワクチン等の開発が困難で、対処方法がないものを想定

【体制】

- 重点感染症に対するワクチン等の企業開発支援を行う体制を構築
 - 米国には、主にアカデミアの研究支援を行うNIHに加えて、公衆衛生上の危機に対応するためにワクチン等の企業開発支援を行うBARDA (Biomedical Advanced Research and Development Authority: アメリカ生物医学先端研究開発局(保健省の一部局))が存在
 - BARDAは平時から企業支援を行っており、今回のコロナパンデミックにおいて、ワクチン開発に重要な役割を果たしたと考えられる

③ワクチン生産に必要な国産原材料・資材に対する基準の策定

- 「研究用」とされている国産原材料・資材について、ワクチン製造に用いることができるように基準を策定
 - 基準を策定する主体としては、厚労省の部会等が考えられるか
 - ワクチン製造の基準を策定することで、国産の原材料・資材の振興にも繋がる可能性